

令和6年度 加茂中学校 研究の構想

1. 研究主題 「つながりあい、ともに成長しようとする生徒の育成
～授業づくり、集団づくりをとおして～」 (2か年計画の1年次)

2. 研究目標

「つながりあい、ともに成長しようとする生徒」の育成を目指して、「授業づくり」「集団づくり」を推進し、人との望ましいかかわりの中で自分の思いを表現し、課題解決を目指す力がつく教育の在り方を探り、実践する。

3. 生徒の実態

素直で穏やかな生徒が多く、落ち着いて授業や諸活動に取り組んでいる。地域に支えられているという生徒の意識も高く、全校で行う奉仕活動に熱心に取り組む。一方、校区の小学校が1校のため、人間関係が固定化されており、また気心が知れた集団のため、軽率な言動が時々見られる。このことが起因してか、自分に自信がもてず自分の意見を表現できない生徒が多いこと、友だちと協力して高い目標に向かって努力する生徒が少ない、不登校の増加などが課題としてある。

4. めざす加茂中生の姿

【授業づくり】 自信をもって意欲的に自分の考えを表現しようとする姿

【集団づくり】【連携づくり】 人との望ましいかかわり方を意欲的に身につけようとする姿

5. 研究仮説

【授業づくり】 一人一人がわかる喜びを実感し、協働的な活動をとおして励まし、認め合う場面を多く取り入れれば、自信をもって自分の考えを表現し、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【集団づくり】 他者や集団とのかかわりの中で、互いを認め合い、一人一人が達成感や充実感、「連帯感を味わう活動を充実させれば、人との望ましいかかわり方を身につけ、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【連携づくり】 学校と家庭、地域が連携し、いろいろな人と交流を深める活動を充実させれば、達成感や自己有用感が高まり、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

6. 研究の内容 (今年度の実践の具体)

【授業づくり】

○「加茂中授業モデル」を活用する。

→ 生徒がかかわり合って主体的に課題を解決する活動のある授業づくり

※ 根拠を示して自分の考えを述べるよう指導する

○授業では、ねらい(めあて)、流れ、授業後の振り返りを大切にしている。

○「授業の取組5項目」を生徒に意識させる。

○県教委から出ている「令和6年度版授業チェックリスト」で自分の授業をチェックする。

○教師一人一人が目標を設定し、達成を目指す。

○自己の生き方を考える道徳研究を進める。

→ 登場人物の気持ちを考えるのではなく、自分に置き換えて、「自分だったらどうするか」を考える。おおまかな授業の流れ(特に発問)や生徒の感想を記録していく。

【集団づくり】

○基盤となる学年・学級集団づくり

- ・互いのよさや頑張りを認める場面や機会の意図的・計画的な実施（朝終礼、学活等）
- ・総合的な学習の時間を中心とした人間関係づくりプログラムの実施（かもとくタイム、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングなど）
- 異学年交流
 - ・体育祭や合唱コンクールなど学校行事における異学年交流と互いを認め合う場面や掲示物の作成（肯定的相互評価やメッセージ交換、縦割り活動など）
- 人権意識を高める教職員集団づくり
 - ・叱責せず諭す。→主体的に考える生徒の育成
 - ・人権意識を高める教職員研修の計画的実施。人権に係る研修への積極的参加。
- 教育環境づくり…教室、ロッカー、掲示物、トイレなどの生徒をとりまく環境の整備
- 汎用的コミュニケーション力育成を目指した語彙力強化テストの実施
 - ・月1回、朝の活動の時間を活用　・満点の人は掲示。年間通して満点の人は年度末に表彰。

【連携づくり】

- 家庭との連携
 - ・人権教育に関する授業公開の実施
 - ・保護者から生徒への「きらきらメッセージ」の掲示
- 保・こ・小・中の連携
 - ・保こ小中合同PTA講演会の実施
 - ・合同あいさつ運動の実施
- 地域との連携
 - ・教育活動への地域人材の活用
 - ・地域行事やボランティア活動への積極的参加
 - ・加茂地区学校運営協議会

7. 検証方法

- ・年2回実施される、「学校評価」「アンケートQU」「よりよい学校生活を送るためのアンケート」を活用する。

8. 研究計画

- 1学期…研究構想周知、自己目標設定、第1回学校評価
- 夏季休業中…中間振り返りと改善点の把握
- 2学期…中間振り返りに基づいた実践、第2回学校評価
- 3学期…年間振り返りと次年度に向けた改善点の把握

9. 授業研究の持ち方について

- 教師の学び合い…現実的方策の検討…訪問指導や授業公開を活用する
 - ・訪問指導…雲南市学力育成 前後期各1回 計2回
 - 公開授業の「めあて」と「振り返り」の整合性について学年部で練り合う
 - ・フォローアップ対象授業（2年社会）…2年部参加
 - ・初任者研修訪問指導1回（1または3年国語）…3年部参加
 - ・初任者研修実践研（道徳または特別活動）…1年部参加